

4月歩こう会 =足助=

日 時：2025 年 4 月 22 日（水）

場 所：愛知県豊田市足助

参加人数：4 名

足助町イコール香嵐溪の紅葉というイメージが強くありますが、江戸時代から信州への塩街道(中馬街道)中継点として発展してきました。

その名残で町中には商家が数多く並び一年を通して見学者が訪れます。

新緑まぶしい一日 私たちも町並み保存の一環で『伝統的建造物群保存地区』に指定された地域を散策しました。

その中の一軒に「旧田口家住宅」があり奥殿まで見学させて頂きました。

田口家は江戸後期から【萬屋】として製茶・肥料・油類等生活物資を扱ってこられました。

弊社とはライジングサン石油時代からのお付き合いで、永年三河西地区において特約店として多くの販売店を有し大変お世話になってきました。

田口敏夫男氏は現在、足助観光協会の会長として活躍され地域に貢献されています。

足助地区の魅力づくりとして、会長就任後に足助祭りを復活されました。

また紅葉を今後も楽しめるようにと計画的に植え替えをおこない「50 年は大丈夫」と太鼓判を押しておられました。

【旧田口家住宅】

豊田市に寄贈され現在は豊田市の管理となっておりますが、一部は公開されております。

主屋には貝マーク、幟、看板類、地下タンクのマンホール等が残っており大変懐かしく見学出来ました。

足助の町家の特徴である高い天井や、奥に長い屋敷構えなど、最も伝統的な外観を維持している町家の一つであり伝統を伝えるものとして非常に貴重な遺構です。

昔の商家は間口狭いですが、奥行はとんでも長く、当家も70メートルあるそうです。

3つの土蔵、倉庫、奥座敷等で昔の生活の知恵や大変さが思われます。

今後は著名な企業と連携し宿泊施設の設置等 家族単位で楽しめる場所が計画されています。

歩こう会幹事 水谷 清春



① 新緑の山々



② 風にそよぐ緑



③ 田口氏(手前)と記念写真



④ 町の風景(1)(伝造物には必ず貼られている)



⑤ 町の風景(2)(風情ある小径)



⑥ 町の風景(3)



⑦ 田口家住宅



⑧ 玄関土間に残るマンホール(ガソリンの匂いが残ります)



⑨ ディスプレイの数々